

戸建住宅向け鋼板外装・部材開発に関する研究

共同研究機関名 北長金日米建材株式会社、北板金属株式会社
東邦シートフレーム株式会社、ナカ工業株式会社
日新総合建材株式会社、有限会社イースト企工
担当部科 環境科学部居住環境科、居住科学部人間科学科
研究期間 平成15～17年度

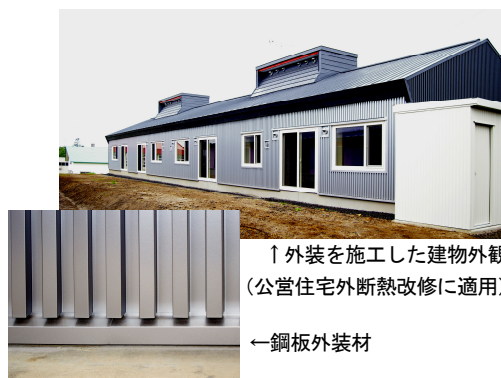
研究の目的

本研究では、道内で加工・供給・施工の体制が整っており、低廉で加工性、リサイクル性にすぐれる鋼板を建物の外装により多く適用することにより、建築物の耐久性の向上や環境負荷低減に貢献することを目的に、戸建住宅等の低層建物用途の鋼板外装材の開発を行います。また、道内の戸建住宅では、屋根周りや水切り等の部材に鋼板が使われていますが、細部は現場あわせとなっており施工精度により性能が左右される可能性があるため、新外装材に適合する部材（役物）も含めた高耐久かつ地域生産性の高いシステムとして提案します。

研究の概要

本研究では、デザインの検討や強度、放湿性能等の検証、実建物への適用を通して山高さ 30mm の新たな鋼板外装材を開発しました。また、この山高さに合う開口部周りや換気口周りの専用部材を開発し、汚れの付着や排水性能を確認しました。

施工上の改善点をふまえて断熱材や下地の取付方法の検討も行い、鋼板外装システムとして提案しました。



活用方法・成果

本研究で提案された鋼板外装システムは、共同研究各社の既存ルートを活用して普及・販売が展開され、住宅性能の向上や、地域生産可能で長持ちする建物の建設に寄与します。

